

目 次

第1章 構想の基本的事項

1. 構想策定の背景と目的	1
2. 構想の位置づけ	1
3. 構想の目標期間	2
4. 構想策定の経過	2

第2章 宇都宮市の概要

1. 社会的環境	4
(1)人口等の推移	
(2)市域の変遷	
(3)市街地の密集度の推移	
(4)交通	
(5)産業構造	
(6)観光入込客数	
(7)大谷石産業の概要	
2. 自然環境の特性	12
(1)地形・地質	
(2)気候	
3. 歴史の変遷	15
(1)日本列島の成り立ちと大谷石層の形成	
(2)原始・古代の宇都宮	
(3)中世の宇都宮	
(4)近世城下町として繁栄した宇都宮	
(5)町から市へ 宇都宮市の誕生	
(6)都市の発達と文化振興の芽生え	
(7)新たな文化交流都市を目指して	

第3章 歴史文化資源の総合的把握と歴史文化の特徴

1. 文化財調査の状況	21
(1)埋蔵文化財報告書	
(2)課題別一斉調査	
(3)その他の調査	
2. 歴史文化資源の種類と特性	26
(1)宇都宮市の歴史文化資源の把握方針	
(2)総合的把握の方法	
(3)既存文献からの洗い出しによる資源発掘	
(4)市民ワークショップの開催による資源発掘	
(5)歴史文化資源の種類とデータベースの構築	
(6)その他に把握されている本市特有の資源	
(7)地域ごとの歴史文化資源の特徴	
3. 歴史文化の特徴	42
(1)検討の進め方	
(2)特徴把握のための検討方法	
(3)宇都宮市の歴史文化の特徴	

第4章 保存活用に関する現状と課題

1. 取組の状況	51
(1) 指定・認定制度の現状	
(2) 歴史文化資源の所有者の現状	
(3) 行政による保存活用の取組の状況	
(4) 市民主体による保存活用の取組の状況	
2. 保存・活用に関わる課題	65
(1) 文化財調査における課題の整理	
(2) 保存・活用に関わる課題の整理	

第5章 保存活用の方針

1. 基本的な考え方	67
2. 基本理念	69
3. 基本方針	70

第6章 関連文化財群

1. 関連文化財群の設定の考え方	77
(1) 関連文化財群の定義	
(2) 設定の目的	
(3) 設定の方針	
(4) ストーリー作成	
(5) エイト・ストーリーの設定	
(6) 関連文化財群の活用の方向性	
2. 関連文化財群の概要	80
(1) 今も昔も住みやすい関東平野の里山都市 うつのみや	
(2) 文武に秀でた宇都宮氏の本拠地 うつのみや	
(3) 2つの街道の追分、水運の鬼怒川 人・物・情報の交流拠点 うつのみや	
(4) 古代から現代まで 大谷石がつくり繋いだ石のまち うつのみや	
(5) 古代国家を支えた下毛野氏基盤の地 うつのみや	
(6) 徳川将軍も泊まった華やかな城下町 うつのみや	
(7) 二度の戦災をたくましく生き抜いたまち うつのみや	
(8) 農村に生きた人々が築いた文化豊かな田園の地 うつのみや	

第7章 歴史文化保存活用区域の設定

1. 設定の考え方	97
(1) 歴史文化保存活用区域とは	
(2) 歴史文化保存活用区域の意義	
(3) 歴史文化保存活用区域の考え方	
2. 保存活用区域	98
3. 保存活用の方向性	100
(1) 市街地中心部エリア	
(2) 大谷エリア	
(3) 街道沿いエリア	
(4) 鬼怒川沿いエリア	
(5) 姿川・田川南部エリア	
(6) 北部山地エリア	
(7) 宇都宮丘陵エリア	

第8章 歴史文化資源の保存活用のための体制整備の方針

1. 「保存活用のサイクル」の好循環を生み出すための視点 105
2. 効果的な市民意識の共有や人材育成の環境や仕組みづくり 105
3. 保存や活用の活動を促進する環境や仕組みづくり 108
 - (1) 市民共有の「地域の宝」を守る市民遺産制度の考え方
 - (2) 多様な主体が連携する基盤整備の考え方

第9章 今後の取組に向けて

1. 本市の特色を市民共有の財産に 110
2. 具体的な事業化に向けて 110
3. 構想の見直し 110

■資料編 111